

## 紀三井寺開創一二五〇年記念事業御勧進趣意書(要約版)

紀三井寺は、奈良時代の宝亀元（西暦770）年に唐僧・為光上人によって開かれました。

令和2（2020）年、開創1250年という大きな節目を迎えた当紀三井寺が、次なる50年に備えて為すべき事とは何でしょうか？

この世の苦海を彼岸へと渡るお釈迦様の智慧と、観音様の慈悲の心を鼓吹伝道する道場として、紀三井寺は今こそ、新たな歩みを始めたいと存じます。

その為に「障壁を取り除く」という意味の言葉「バリアフリー」をキーワードとして下記のような記念事業を策定致しました。

これらは当寺が、当代の社会的要請に応えられる法域としての機能を具備して、加速する高齢化社会に対応し、さらに門前町の活性化に資する境内整備を主眼と致しております。

ここに、皆様方の御寄進を勧進申し上げます。

それは、当紀三井寺の未来に御参画頂く御仏縁であると共に、皆様方ご一統様のご多幸に資する五十年に一度の稀有なる勝縁です。

御結縁を、ここに御懇請申し上げます。

### 記

#### 紀三井寺開創一二五〇年記念事業

##### ※参詣のバリアフリー

山麓より本堂脇へ至るケーブル及びエレベーター創設  
西国巡礼お砂踏み霊場創設（ケーブル終点よりエレベーター起点）  
三社権現等境内文化財の改修及び三社権現前石段の改修

##### ※景観のバリアフリー

境内行事用ステージの移設と見晴らしベンチ創設

##### ※布教のバリアフリー

本堂改修による大光明殿での法話態勢整備  
法話出張・各地観音講の創設

勧進期間 令和2年2月1日～令和5年3月31日

総工費 5 億 円

御寄進御勧進 一 口 一 万 円 以 上

御送金先

銀行振込口座 紀陽銀行 紀三井寺支店 普通 733086

郵便振替口座 00920-3-197257

名義はいずれも「き み い で ら か い そ う せ ん に ひ ゃ く ご じ ゅ う ね ん ほう さん かい紀三井寺開創1250年奉賛会」

※ここに添付の振替用紙で御送金頂きました場合は、その御送金日をもって御寄進期日とし、「**払込票兼受領証**」をもって領票に替えさせていただきます。  
※この御寄進を貴方様にお勧め下さいました、仲介をして頂きました方がおられます場合は、「**御世話人様**」欄に必ず、その方の尊名をご記入下さい。

元より御寄進は、貴方様に功德をもたらす大なる清行ですが、他者への御勧進も又、尊い大行です。

令和2年開始の当勧進は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、寄付帖を持って御世話人様が各ご家庭を回って頂いた従来の形式は断念し、御信徒各位が個別に御寄進頂くこととなりましたので、御仲介、御勧進の御世話人様名をお教え頂ければ、御本尊様にご報告できます。どうかご協力下さい。

## 紀三井寺開創一二五〇年奉賛会

総 裁 二階俊博

会 長 島 正博

副会長 有田真一 大谷文章 小島寿雄 林 泰行 山西美明

紀三井寺 貫主 前田泰道

**紀三井寺開創1250年記念事業趣意書（正文）**  
は、次ページに掲載しています。



## 紀三井寺開創 1 2 5 0 年記念事業趣意書（正文）

紀三井寺は、奈良時代の宝亀元（西暦 7 7 0）年に唐僧・為光上人によって開かれました。令和 2（西暦 2 0 2 0）年は、**開創 1 2 5 0 年の節目**です。

紀三井寺は、**西国三十三所観音巡礼道第二番札所**として、古来無数の参詣者をお迎えして参りました南海道の霊刹であり、**御本尊・十一面観音様**は、厄除・開運をはじめとして、あまた願い事に御霊験もあらたかです。

「**絶景の宝庫 和歌の浦**」構成文化財として日本遺産に登録されている境内からの景観は端麗にして、寺名の起こりとなりたる**清浄水・楊柳水・吉祥水の三霊井**は心地よき水音を絶やすことなく、とりわけ、**早咲き桜の名所**として全国にその名を知られております。

丹色鮮やかな国指定重要文化財、**楼門・鐘楼・多宝塔**は名草山中の緑に映え、市民の「心の灯台」として建立された仏殿には、**木造立像では日本最大の仏像、大千手観世音菩薩**が御奉安されて、見上げる来山者の驚嘆を誘っております。

さて、こうして開創 1 2 5 0 年の節目を迎えた紀三井寺が、次なる 5 0 年に備えて為すべき事とは何でありましょうか？

インターネットや A・I（人工知能）が発達し、医療や交通手段といった機能が充実した現代社会にあっても、釈尊が説かれた「**思い通りにならない**」各人の人生は、いささかも変わることはありません。

生老病死に満ちたこの世を苦海と見定め、今も尚、**彼岸へと渡る渡し船**であり続けるのが仏教の始祖・釈尊の智慧であります。

この**智慧を兼ね備えた慈悲深き観音様との同行二人の歩み**が、私達の人生行路にとって、いかに強き助けになるかを鼓吹伝道する道場として、**紀三井寺は今こそ、新たな歩み**を始めねばなりません。

加速する**高齢化社会に対応する境内のバリアフリー化や、所蔵文化財の改修**も急務です。

歴史有る紀三井寺を、当代の社会的要請に応えられる法城としての機能を具備し、**門前町の活性化**に資する工夫と共に、より整備された姿で後世に伝える為に、左記の様な記念事業を推進して参ります。

ここに、皆様方の御寄進を勧進申し上げます。

それは、まごうことなく、**皆々様の御先祖の供養、御一統様の御多幸に資する千載一遇の機会、五十年に一度の稀有なる勝縁**であります。

紀三井寺の未来に、あなたも御参加下さい。御結縁を、ここに御懇請申し上げます。

（令和元年 1 2 月 1 3 日 紀三井寺護国院総代会）

紀三井寺 〒641-0012 和歌山市紀三井寺 1201 TEL:073-444-1002 FAX:073-444-3678

これまでもすでに実施された紀三井寺開創1250年記念事業

本堂東側回廊新設工事



令和元（2019）年6月18日竣工

三社権現改修工事



令和2（2020）年11月13日竣工

山上駐車場より本堂西に至るエレベーター



令和2（2020）年11月13日竣工